

## 平成28年度 第1回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（1学年）

時下、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび「生徒による授業アンケート」を実施し、貴重なデータを得ることができました。現在、その集計結果を受け、各教科で分析するとともに授業改善への手立てを検討し、研究授業を実施するなど授業の質を今まで以上に高める取り組みを進めております。

つきましては、各教科における集計分析結果及び授業改善への取り組みの概要をご覧いただき、ご質問・ご意見等、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

（厚木北高校 副校長 046-241-8002）

1. アンケートの実施日  
平成28年7月14日（木）

2. 各教科の集計分析・授業改善（概略）

国語	集計分析	おおむね良好な評価を得ており、指導方法において「生徒の発言や反応を大切にしている」という項目で3・4を選んだ生徒が多かった。教員側からの一方的な授業展開にならないように各担当者が工夫を行い、生徒の反応に丁寧に対応しているといえる。また、生徒自身の取り組みでは「予習・復習をしている」という項目で1・2を選んだ生徒が多かった。家庭での学習に繋がられる取り組みをしていく必要がある。
	授業改善	授業中に生徒が発言する機会を増やし、生徒が主体的に授業に関われるよう授業展開を工夫する。また、授業内で生徒自身に考える機会を増やすことで考えを組み立てる力を養うとともに、達成感を得るような経験を積極的に取り入れていきたい。生徒の予習・復習を促すために、家庭学習の方法を指導したり、家庭学習用の教材を作ったりすることも考えたい。
地歴・公民	集計分析	おおむね良好な評価を得ているが、わかろうとする努力をしているという項目で1・2を選んでいる生徒が多かった。話し合いや発表に関する項目では3・4を選んだ生徒が多く、昨年度よりも改善することができた。
	授業改善	予習復習やわかろうとする努力に関する項目が他と比べると満足度が小さいので、生徒が家庭学習をするようにしたい。そのために関心・意欲を高める工夫や小テストの実施などを行っていきたい。また一方的な授業にならない工夫を今後も検討していきたい。
数学	集計分析	数学Ⅰ、数学Aともに、ほとんどの項目で3・4の合計が70%を超えた。「意欲的に取り組んでいる」の評価が高く、数学に興味関心のある生徒が多い。ただ、「話し合いや発表をする機会がある」の評価が60%と低かったので、生徒が主体的に学ぶことのできる授業の工夫や、考えさせる時間を多く取り入れるなどの改善が必要である。
	授業改善	意欲的に学ぼうとする意欲は高いが、予習・復習をしている生徒は少ないようである。そのため、各クラス内での学力差は大きいように感じている。習熟度別に授業を展開しているため、生徒一人ひとりに目を向けやすい状態になっているが、より多くの生徒が主体的に学びながら理解できる授業展開が求められる。必要に応じて、個別に課題を出して学習内容の更なる定着を図り、補習・課題など授業時間外での対応をしていきたいと思う。
理科	集計分析	物理基礎に関しては、「授業内容が理解できている」「予習・復習をしている」等で低い評価となり、「チャイムと同時の授業」「授業マナー」「公平に接している」等で高い評価を受けた。生物基礎に関しては、「理解度にあわせた授業」「きめ細かい指導」等で評価が低かった。生徒自身の状況としては、「予習・復習をしている」の評価が低かったが、「意欲的な取り組み」「興味関心の深まり」等では比較的高い評価をしている。
	授業改善	物理基礎に関しては、予習・復習をあまりしていないと回答した生徒が、特に授業内容を十分に理解できていないと思われる。單元ごとに小テスト等を実施することで、予習・復習の習慣を身に付けさせるとともに、授業内容の理解度と達成感を上げられるよう改善していきたい。生物基礎に関しては、意欲的に取り組む姿勢が授業中にみられる。家庭学習を習慣化することで知識を定着させ、次の授業につながるようにしていくとともに、生徒の理解度に合わせたきめ細かい指導を、生徒主体の授業にさらに取り入れ、工夫していきたい。

平成28年度 第1回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（1学年）

保健体育	集計分析	<p>体育においては、17項目中15項目において4・3の評価が80%以上と生徒の満足度が高い。きめ細かく、分かり易い説明や段階的な指導法の工夫によって多くの生徒が達成感を得ることが出来ている。武道については、礼法や、基本動作の意味を指導しながら授業を行うことで、17項目中14項目において4・3の評価が80%以上と体育と同等の満足度であった。</p> <p>保健においても17項目中14項目において、4・3の評価が80%以上と満足度が高い。スポーツ概論も17項目中12項目において、4・3の評価が80%以上と満足度が高いと考えられる。</p>
	授業改善	<p>種目が選択できるようになり、男女共習になるなど授業形態の変化が定着した。男女共習になったことで、男女ともより一層体力が向上するように、工夫を重ねていく必要がある。体育科の各メンバーが自分の専門種目についての知識を生かし、生徒が充実感を得るような指導法をさらに提案していく。担当学年同士の連携はできているものの、他学年との連携に課題が残っている。教科内で研修会を開くなどし、同学年だけではなく、他学年との連携を密にしたい。また、種目選択制になったことで扱う種目やクラスの同時展開に関して、さらなる検討が必要である。</p>
芸術	集計分析	<p>どの項目においても、概ね70%～80%の生徒が授業内容・指導方法ともに肯定的回答であると分析できた。昨年度の課題であったクラスによる理解度の差に関しては、今回改善されていたのでこのまま継続していきたい。</p> <p>実技の多い科目であるからか、生徒自身がわかっていく努力がやや低かった。授業で学んだ内容を、自分のものにしていく活動ができるように工夫していきたい。</p>
	授業改善	<p>生徒の興味・関心に応じた教材の精選と、個々の能力を活かしたわかりやすい指導を工夫し、生徒の能力がさらに発揮できるようにしていく。</p> <p>発表や話し合いなどの場を増やし、生徒が積極的に授業に臨めるような工夫をすることで、授業以外での芸術活動にも積極的に取り組む意識をもたせたい。</p>
英語	集計分析	<p>ほぼ全ての項目で3・4の合計が80%を超えているが、これは習熟度別にクラスを分けていることにより、苦手な生徒も自分の実力に合った授業が受けられる点が功を奏しているようだ。ただ「予習・復習をしている」という項目では3・4が60%程度で、わかっていく努力をしながらも、家庭学習の習慣があまりついていないことが見受けられる。</p>
	授業改善	<p>家庭学習を身につけさせるために現在行っている単語の週末課題はもちろん、連休等の休みには課題を出したり、文法の単元ごとの小テストを行って、必然的に家庭学習が必要な機会を増やすようにする。また、プリント等を工夫して、前もって自分で予習ができるよう指導する。</p>
情報	集計分析	<p>「話し合いや発表する機会がある」と「予習・復習をしている」の評価が他と比べて低くなっている。2学期途中まではテキストに沿った実習中心のため、これらの評価が低くなってしまったと考えられる。また、「意欲的に取り組んでいる」や「興味関心がもてる」の評価が高く、現在の生活には必要不可欠なものであると感じているようである。</p>
	授業改善	<p>2学期後半以降は、個人で調べて発表するという授業形態とする予定であるため、そこで話し合いや発表する機会も改善されると思われる。また、ただパソコンの操作ができるだけでなく、情報社会の中でのモラルや正しい知識を身につけることの大切さに焦点をあてた授業を展開していきたい。</p>